

# CHIT 9 SE

2004  
SEPTEMBER

特集

## 子どもものの視点で 見えてくるもの

「子どもまちなみ探検隊」と歩く  
千歳川と都市景観

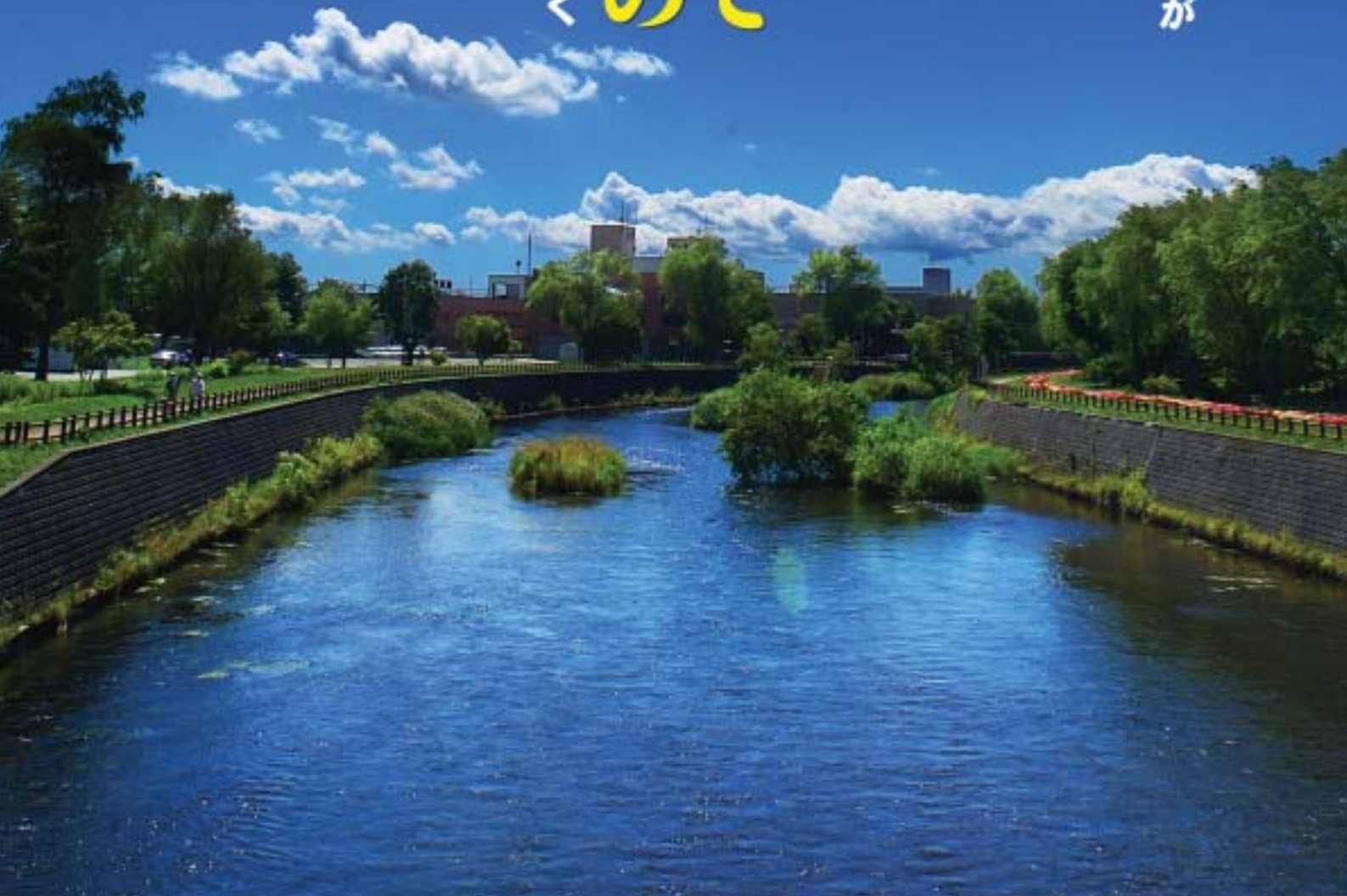
市役所からのお知らせ

6 都市経営会議の活動が  
スタートしました

7 平成16年度  
千歳市敬老会

7 JR千歳駅周辺で  
「電線類地中化事業」  
が始まります

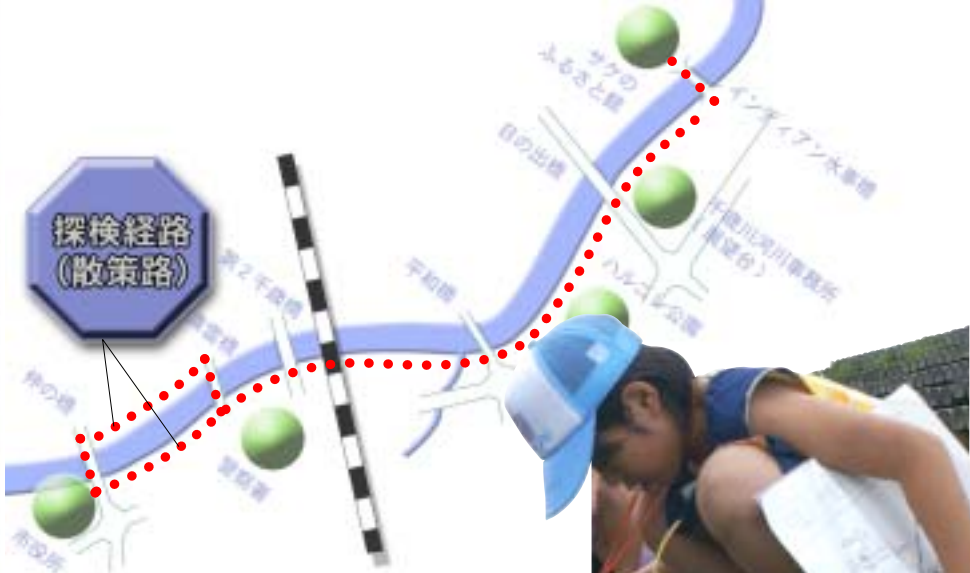
8 父子家庭に  
医療費の助成をします







適度な弾力性のある  
歩きやすい散策路



探検経路  
(散策路)



きれいな水に  
思わず「カシャ！」

快晴の中、いざ出発！

昨年9月、北海道開発局  
(千歳川河川事務所)は、千  
歳川沿いに散策路を設置しま  
した。この散策路は、市役所  
付近からサーモン橋(30号通)  
まで続き、現在、ウォーキン  
グ、ランニングや犬の散歩な  
ど、たくさんの方に親しまれ  
ています。



V 音階は登ることができない  
千歳川河川事務所の展望台から

子どもまちなみ探検隊の2  
日目は、子どもたちがカメラ  
と画板を手に、この散策路を  
探検。4グループに分かれ、  
一人ひとりが「赤ちゃん」、  
「おじいちゃん」や「鳥」になりき  
るなどの役割を持ち、千歳川  
沿いの景観を見て歩きました。  
当日は、そよ風の吹く心地  
よい快晴で、川の音を聞きな  
がら探検。自然と子どもた  
ちの足取りも軽く、真剣に参  
加するその横顔にも、時折、  
笑顔がこぼれます。



# 子どもの視点で 見えてくるもの

特集



「子どもまちなみ探検隊」と歩く  
千歳川と都市景観



水の音、緑あふれる散策路  
千歳の景観ここにあり



小さな発見も  
大切な記録です

川岸には、青々とした草木に「清  
水町寿クラブ」が植えた花壇な  
どが彩りを添え、まちの中心にあり  
ながら、美しい景色がひろがります。  
子どもたちの関心はやはり「生き  
物」、川で羽を休めるカモを見つけ  
ては写真を撮り、トンボを見つけて  
は写真を撮り。  
「ハトなんて、ひさしばかりに見た  
り」という言葉には、自然と触  
れ合う機会が少ない子どもたちの生  
活が垣間見えます。  
千歳川周辺の景観は、市民が自然  
とふれあう場所といえるでしょう。



これは、市民から寄せられた手  
紙の内容の一部です。  
住民の「まち」に対する愛着は、  
地域の歴史やまちなみなどの『都  
市景観』から生まれることが多く、  
特に「水と緑の景観」は、まちづ  
くりにかかせないものです。  
市は、将来を担う子どもたちに、  
まちづくりや景観について学んで  
もらおうと、8月9日と10日の2  
日間、夏休み中の小学生を対象と  
したジュニア景観士講座『子ども  
まちなみ探検隊』を行いました。  
今回は、この探検に同行し、千  
歳川の周辺に焦点を当てた「水と  
緑の景観」について特集します。

『2年ほど前に、千歳に引っ越してきました。健康  
のため早朝ウォーキングをしています。青葉公  
園』と「千歳川河畔」の美しさに感激の毎日です。』







子どもの視点が  
捕らえたもの

子どもたちの発見は、生き物だけではありませんでした。

捨てられたビニール袋やベ  
ットボトル。川底の空き缶  
橋の裏側に、びっしりと書  
かれたイタズラ書き。  
JR高架下に無造作に放置  
された自転車。

中でも悲惨なのがハルニレ  
公園近くの木製  
階段で発生した  
放火跡でした。

千歳川河川事  
務所の話では、7  
月17日に起きた  
ことで、電話帳  
に火をつけて、立  
ち去ったものだ  
そうです。同じ場  
所では、6月にも、  
若者の焚き火によ



イタズラ、不  
法投棄や公共物  
の破壊、このよ  
うなモラルの  
欠落は、子ども  
の目にどう映  
るのでしょうか。



「JR高架下に  
放置された自転車」  
橋の裏にびっしりと  
書かれたイタズラ書き

る火災が発生、消防が駆けつ  
けることもありました。  
ここは、浅瀬がくいで囲ま  
れ、普段子ども連れの家族が  
川で親しむ光景をよく目にす  
る場所。市民の憩  
いの場が、心ない  
行為によって破  
壊されることは  
残念なことです。

「これぐらいは許されるん  
だ」、「大人はひどいことす  
ね」、「子ども」とひとく  
りでも、感じ方はさまざま  
です。景観が子どもたちの  
成長に与える影響は、決して  
少なくありません。



ママチ川と千歳川の合流部に設けられ  
た石の橋。一見、情緒あふれる風景で  
も、探検隊の目には、「小さい子どもや車  
いすの人には渡れないネ」のひとこと。

|  |  |  |   |
|--|--|--|---|
|  | おじいちゃんが<br>休める「ベンチ」<br>がほしいな。<br>秘密基地にしたい<br>ところ発見！              |  | ごみも捨てられて<br>いないきれいな川<br>だ。周りでみんな<br>遊んでいたよ。<br>川の水がひかっ<br>てるー |
|  | 探検<br>報告   |  | やっぱり自然は<br>いいね～。いや<br>される～<br>カラフルな花が<br>キレイ                  |
|  | 障子フリーの<br>かいだん。急だ<br>けど、スロープ<br>がついていた。<br>おとしよりにべん<br>り(な散策路)だ。 |  |   |

「景観」＝「自然」？  
「景観」という言葉からは  
「自然」を連想しがちです。  
今回の子どもたちの探検報  
告の中でも「自然がいっぱい」  
「花壇がきれい」「木がたくさんある」「草がふわふわで気  
持ちよさそう」「川の水がき  
れい」との感想が多  
くありました。



「自然」を辞書で調べると、「人為の加わっていないもの・あるがままのさま」とな  
っています。  
そう考えると、わたしたち  
が愛着を感じる水や緑の景観  
の多くは「自然」ではないこ  
とがわかります。  
街路樹、公園、花壇や川岸  
あるいは広大な農村風景でさ  
えも、すべてそこに住む人が  
住みやすいように、手を加え  
てきたものなのです。

「景観」の視点から見ると、  
「まちなみの自然を守る」こと  
は、これまでそこに住んでき  
た人、古くは千歳の先人たち  
が育んできた、知恵や歴史を  
守ることであります。  
川や草木と調和した景観に  
不思議と愛着心や望郷心が芽  
生えるのは、先人や、現在景  
観づくりに携わっている方た  
ちの、温かい思いが込められて  
いるからなのかもしれません。

### 市民が築く「都市景観」

戦後の復興期から高度経済  
成長期を経て、わたしたちの  
まちづくりに対する意識は  
「量・機能的なものから、質・  
美観をももつもの」へと移り  
変わっています。  
市は現在、「ちとせ都市景観  
ガイドプラン」を基本方針とし、  
「きれいな空とやわらかな  
水辺、ひとにやさしく美しい  
まちなみめざして」を目標に掲  
げたまちづくりを進めています。

### 魅

力的なまちづくりには  
「景観をつくる」景観を  
ととのえる「ことはもちろん  
ですが、「景観をまもる」「景  
観を損なうものをとりのぞく」  
ことも大切です。そして、何と  
いってもそのためには、市民  
皆さんの協力が不可欠です。

8月1日、「清流と緑を守る  
市民の会」は千歳川周辺の草  
刈と清掃活動を行いました。  
昭和46年から毎年行われて  
いる行事で、各町内会など  
から、約千人の参加  
がありました。

今回、子どもたちの  
探検報告に、「こみや  
タバコ」の投げ捨て  
がひどい」というよ  
うな感想が少なかつ  
たことは、こういった  
市民活動の成果といえる  
でしょう。



8月1日の「千歳川清掃」の一幕

### 千歳エアポート花ロード

空港を訪れる方を温かく迎える  
よう、南千歳駅周辺の国道  
36号に花を植える行事。(主  
催・千歳青年会議所/7月15  
日実施 今年で2回目)



### 花いっぱいコンクール

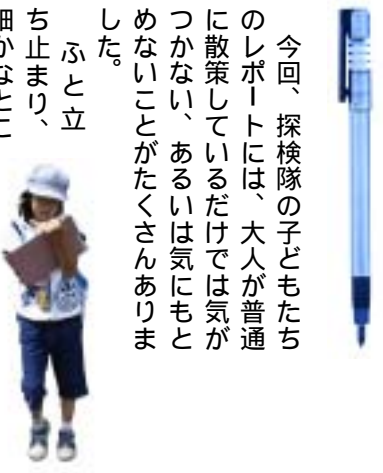
数多くの市民・団体が各部門  
ごとに参加する毎年恒例の  
行事。市内全域で、見事な  
花壇がいっせいに集います。  
(主催・千歳市公園緑化協会)



### 冒

冒 頭で紹介した市民から  
の手紙にはつぎのよう  
なくだりがあります。  
「千歳川は流れが速く、水  
がきれいで、河畔の景色も  
申し分ありません。しかし、淀  
みに溜まったごみなどが悪臭  
を放っていたり、空き缶が川  
底に埋もれていたります。  
もっとこの川を市の誇りに  
して、行政と市民の協力で、  
いつまでも心洗われる清流を  
保ちたいと願っています。」

千歳川のみならず、街路樹、  
公園などの緑を、美しい景観  
として守り続けることも、千  
歳への愛着心を自ら育む、ひ  
とつの「まちづくり」ではな  
いでしょうか。



今回、探検隊の子どもたち  
のレポートには、大人が普通  
に散策しているだけでは気が  
つかない、あるいは気にもと  
めないことがたくさんありま  
した。  
ふと立ち止まり、  
細かなところからまちの様子  
を見ることは、まちづくりに  
参加する第一歩でもあります。  
日ごろから、ウォーキング  
や犬の散歩などで、まちなみ  
を散策している人も多いと思  
いますが、たまには子ども  
の視点でまちなみを歩いては  
いかがでしょうか。きつと普  
段とは違った景観が見えてく  
るはず。

### 「探検＆発見マップ」を公開！

と き・9月21日(火)～10月1日(金)  
と ころ・市役所1階市民ロビー

子どもまちなみ探検隊やまちづくりに  
関する問い合わせは・・・  
企画部まちづくり推進課  
都市計画係(内線301・321)  
<http://www.city.chitose.jp/machi/keikan/index.html>